

## 府中市福祉計画策定の前提(案)

### 社会の状況

- 急速な少子・高齢化、人口減少時代へ突入
- 家族の変化・流動化、単身急増社会
- 平成27年には団塊の世代がすべて高齢者に  
平成47年には3人に1人が高齢者へ
- 東日本大震災の経験を踏まえた災害への対応
- 地域の帰属意識の希薄化、テーマ型コミュニティ  
一方で、震災等を契機とした「地域の絆」の  
重要性
- NPOや市民が自ら担う、「新しい公共」の台頭
- 機能集約型の都市構造への転換(歩いて暮らせるまちづくり、福祉サービス機能の再配置)
- 限りある社会資本や財源を効果的に活用した、持続可能な社会システムの必要性
- 次世代育成、ワーク・ライフ・バランスの必要性

### 施策の動向

- 地域福祉計画に個人情報保護の特例
- 「高齢社会対策大綱」の策定
- 高齢者関係制度改正に向けた議論  
「社会保障制度国民会議」  
「社会保障審議会介護保険部会」
- 障害者総合支援法(平成25年度～)
- 障害者優先調達推進法(平成25年度～)
- 障害者虐待防止法(平成24年10月～)  
等

### 府中市の動向

- 府中市福祉のまちづくり条例の推進
- 府中市地域包括支援センター
- 高齢者見守り支援ネットワーク危機去れシステム
- 認知症体制(ささえ隊、地域支援)
- 今後の保育行政のあり方についての基本方針

